

第 11 章 方法市長意見書等を総合的に検討して
方法書の内容を変更した事項

第 11 章 方法市長意見書等を総合的に検討して方法書の内容を変更した事項

平成 29 年 9 月に提出した環境影響評価方法書（以下「方法書」といいます。）に対する方法市長意見書等を総合的に検討し、方法書の内容を変更した事項は表 11-1 に示すとおりです。

表 11-1 方法書の内容を変更した主な事項

項目	方法書からの変更点	準備書での記載概要	準備書該当ページ
対象事業の内容	建築面積、延べ面積等	事業計画の進展に伴い、建築面積、延べ面積等を最新の計画に更新しました。	p.2-5
	施設配置図、施設断面図	事業計画の進展に伴い、施設配置図、施設断面図を最新の計画に更新しました。方法書において示していた「地域開放棟」をとりやめ、機能をエントランスエリアに集約しました。西側敷地においては、研究機能を集約し、南西角の一部を将来用地としました。東側敷地においては、クラブハウスの形状を見直しました。	p.2-7, 2-9
	交通計画	事業計画の進展に伴い、供用時の関係車両台数（想定）を更新しました。	p.2-12
	防災等に関する計画	計画地盤高さ及び現況地盤面からの造成高さ（盛土高さ等）を、高さ・範囲毎に示した「計画地盤高図」等を掲載しました。	p.2-16
	雨水流出抑制施設の計画	方法市長意見書の内容等を踏まえ、「雨水流出抑制施設の計画」を掲載しました。	p.2-17
	生物多様性の保全、緑の保全と創造	方法市長意見書の内容等を踏まえ、コチドリの生息空間への配慮や、柏尾川沿いの桜並木への配慮、緑道のイメージ図等を記載しました。	p.2-22 ～ 2-25
地域の概況及び地域特性	災害の状況	方法書説明会における意見等を踏まえ、戸塚区における過去 20 年間の災害による被害の発生状況件数を追記しました。	p.3-61 ～ 3-65
		神奈川県による「洪水浸水想定区域図」（神奈川県 平成 30 年 1 月）が公表されたため、地域の概況に追加し、横浜市によるハザードマップとあわせて整理しました。	p.3-69, 3-72 ～ 3-74
環境影響要因の抽出及び環境影響評価項目の選定	環境影響評価項目の選定	方法市長意見書の内容等を踏まえ、本事業の実施による生物多様性への影響の不確実性が考えられることから、環境影響評価項目として工事中・供用時を対象に「生物多様性（動物、植物、生態系）」を選定しました。	p.5-2, 5-3, 5-7
騒音	調査地点	方法書説明会における意見等を踏まえ、戸塚小学校～対象事業実施区域の間の地点として、現況把握等のため、一般環境騒音・振動の調査地点を追加設定しました。 <追加地点> ・地点 D	p.6.5-6
地域社会（交通混雑）	調査地点	方法市長意見書の内容及び方法書説明会における意見等を踏まえ、歩行者・自転車交通量、自動車交通量の現地調査について、現状把握等のため、西側敷地の西側道路（南西角）に調査地点を追加設定しました。 <追加地点> ・自動車交通量：No.6 ・歩行者・自転車交通量：地点⑦	p.6.10-5 ～ 6.10-6
景観	調査地点	方法市長意見書の内容等を踏まえ、近景の調査・予測地点として、6 地点を追加設定しました。 <追加地点> ・地点 12：西側敷地南側 ・地点 13：高嶋橋南東側 ・地点 14：西側敷地北西側（東方向を眺望） ・地点 15：西側敷地北西側（南方向を眺望） ・地点 16：西側敷地南西側（東方向を眺望） ・地点 17：西側敷地南西側（北方向を眺望）	p.6.11-4